

「学校楽しいーと」が  
より活用しやすくなりました

学校適応感の変容を把握できる

# 比較用「学校楽しいーと」

「学校楽しいーと」を活用している学校の要望に応えました。

- 3回のデータから学校適応感の変容を一覧で比較できます。
- タブレットを使った入力や個票の連続印刷もできます。

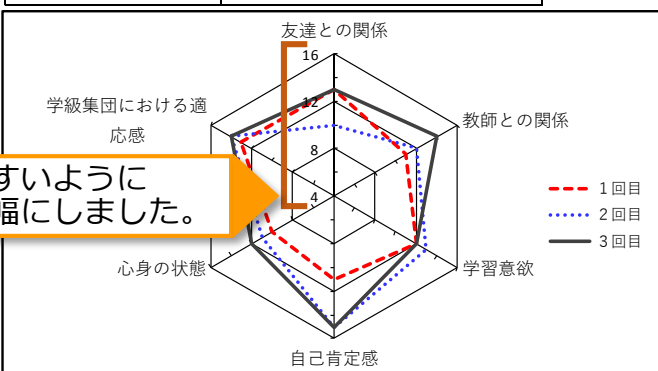


## 比較用「学校楽しいーと」 個票

1年 2組 1番	氏名	大原 台
----------	----	------

1回目 実施日	平成 29 年 4 月 28 日
2回目 実施日	平成 29 年 9 月 24 日
3回目 実施日	平成 30 年 2 月 4 日

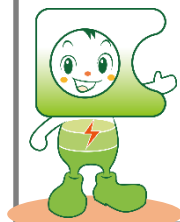
観点	1回目	2回目	3回目
1 友達との関係	13	10	13
2 教師との関係	1	1	1
3 学習意欲	1	1	1
4 自己肯定感	1	1	1
5 心身の状態	10	11	12
6 学級集団における適応感	13	14	14



観点	質問	1回目	2回目	3回目	観点	質問	1回目	2回目	3回目
友達との関係	1 学校には、気軽に話せる友達がいる。	4	3	3	教師との関係	2 学校には、悩みや心配を相談できる先生がいる。	3	4	4
	8 学級には、気軽に会話ができた、遊びに誘ってくれたりする友達がいる。	3	2	4		9 学校には、自分のことを理解してくれる先生がいる。	3	3	3
	14 学校には、自分の悩みや本当の気持ちを話せる友達がいる。	3	3	3		15 学校には、自分が間違いや失敗しても、きちんと話を聞いてくれる先生がいる。	3	3	3
	20 自分が困っているときに助けてくれたり、協力してくれたりする友達がいる。	3	2	3		21 学校の先生たちは、自分に対してみんなと同じように公平に接していると思う。	2	2	4
学習意欲	5 授業中に「できた」「わかった」と感じることがある。	4	4	3	自己肯定感	4 委員会活動や係(当番)活動での自分の仕事は、みんなの役に立っていると思う。	3	3	4
	12 授業中は、先生の話をよく聞いている。	3	2	4		11 学校行事の計画や準備をやり遂げたとき、「よくがんばったなあ」「よくやったなあ」と思うことがある。	2	4	3
	18 授業中、自分から進んで学習に取り組んでいる。	3	4	3		17 自分には、自分なりのよいところがあると思う。	2	4	4
	24 学習した内容をきちんと理解するための、自分なりの学習の仕方がある。	2	3	2		23 他人から好かれている方だと思う。	4	4	4
心身の状態	6 落ち込むことがある。	3	3	3	学級集団における適応感	3 学級の中にいると、明るく楽しい気持ちになる。	4	4	4
	13 おなかが痛くなったり、下痢をしたりする。	3	2	3		10 学級のみんなと一緒に学校行事に参加したり、活動したりするのは楽しい。	3	4	4
	19 頭が痛くなるときがある。	1	2	3		16 この学級の一員でよかったと思うことがある。	3	3	3
	25 気分が悪くなることもある。	3	3	3		22 学級は、目標やルールが大切にされているので、安心して居心地よく過ごせる。	3	3	3
いじめ	7 友達から物を隠されたり、暴力を振るわれたりしてつらい思いをすることがある。	4	3	4	MEMO				
	26 友達から悪口を言われたり、無視されたりしてつらい思いをすることがある。	3	3	4					

1 ⇒ **1** 2 ⇒ **2** 強調して表示します。

値が高いほど、良好な状態であることを示しています。



# 比較用「学校楽しいーと」の有効な使い方とは？

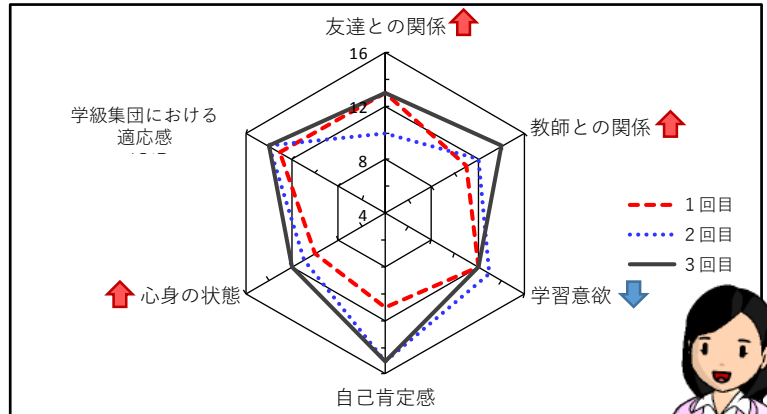
前回の回答と比較して悪くなっているところ（ウィークポイント）を見るのではなく、良好になっているところ（ストロングポイント）に注目して、指導・支援に役立てることが大切です。

観 点	1回目	2回目	3回目	
1 友達との関係	13	10	13	↑
2 教師との関係	11	12	14	↑
3 学習意欲	12	13	12	↓
4 自己肯定感	11	15	15	
5 心身の状態	10	11	12	↑
6 学級集団における適応感	13	14	14	

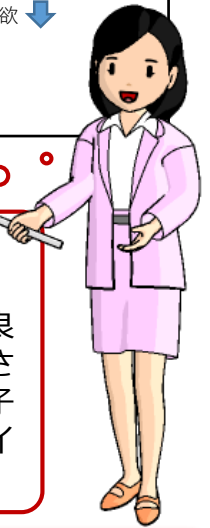
↑ プラスの変容（ストロングポイント）

↓ マイナスの変容（ウィークポイント）

※ ここでは2回目と3回目の値の変化になります。



「学校楽しいーと」は子供から先生に対してのメッセージになりますので、ウィークポイントから「ここが悪くなっているんだね。」「ここがダメだね。」といった否定的な伝え方ではなく、ストロングポイントから「ここが良くなったね。」「ここができるようになったんだね。」といった子供のよさを認める肯定的な伝え方がとても大切です。先生からの肯定的な伝え方は、子供にとって自己肯定感を高める働き掛けになります。ですから、ウィークポイントの改善にストロングポイントを活用することが有効です。



## 比較用「学校楽しいーと」の入手はこちらから

### 「学校楽しいーと」のダウンロードはこちらから

#### 1 「質問紙」と「実施上の留意点」

小学校 1年生～3年生用	小学校 4年生～6年生用	中学生用	高校生用
小学生用 実施上の留意点		中学生・高校生用 実施上の留意点	

必要なところをClick!

比較用「学校楽しいーと」

検索

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>

比較用「学校楽しいーと」は、平成29年度以降の教育相談課主催講座や移動講座の研修で取り扱っていきます。また、活用と分析方法等についての校内研修の支援も受け付けますので御連絡ください。



#### 2 入力集計用シート(Excel)

○ 「学校楽しいーと」(平成23年度開発:従来のタイプ)

・ 該当する学年のExcelデータをダウンロードしてください。

学級用シート (小1～3)	学級用シート (小4～6)	学級用シート (中1～3)	学級用シート (高1～3)
学年分析シート (小1～6)		学年分析シート (中1～3)	学年分析シート (高1～3)

○ 比較用「学校楽しいーと」(平成28年度開発)

・ 該当する学年のExcelデータをダウンロードしてください。

学級用シート (小1～3)	学級用シート (小4～6)	学級用シート (中学生・高校生)
------------------	------------------	---------------------

※ 学年分析シートはありません。

平成29年3月発行  
【編集兼発行】

「学校適応感の変容を把握できる 比較用『学校楽しいーと』」  
鹿児島県総合教育センター 〒891-1305 鹿児島県鹿児島市宮之浦町862  
代表 (099) 294-2311 FAX (099) 294-2309 URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/>  
E-Mail [center@edu.pref.kagoshima.jp](mailto:center@edu.pref.kagoshima.jp)

問合せ先 教育相談課 Tel (099) 294-2788

Copyright©2017 Prefectural Institute For Education Research